

〔選択科目：外科〕

1．研修内容

基本研修に加えた外科学の基本知識・技能、すなわち外科実地臨床に必要な臨床能力の基礎を習得する。

2．一般目標

主治医チームの一員として外科診療に参加し、その流れを理解する。
患者の治療方針に関して説明できる。

3．行動目標

基本研修での成果をより充実させる。
開腹、閉腹、ドレーン留置が指導医のもとで出来る。

4．研修目標

(1) 経験した方がよい主要疾患

良性疾患として皮下膿瘍、皮下腫瘍（脂肪腫、粉瘤など）、急性虫垂炎、鼠径ヘルニア、大腿ヘルニア、胆石症、急性胆嚢炎など。
悪性疾患として胃癌、大腸癌、乳癌など。

(2) 研修すべき主な診断・検査法

上部消化管造影、下部消化管造影、腹部超音波、乳腺超音波
上部消化管内視鏡（見学）

(3) 研修すべき手技・治療法

局所麻酔法、切開排膿、腫瘍摘出など小外科手術および minor 手術
中心静脈栄養（IVH）カテーテル留置
胸腔穿刺、腹腔穿刺

5．研修実績

週1回研修医当直を行い救急外来の初診にあたり、夜間の病棟管理を指導医とともに行う。
可能な限り実際の手術に立会う。
外科系学会地方会（主に外科集談会など）に、指導医の指導のもと最低一回は学会発表を行う。